

議会だより

2020年 5 月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集



当初予算

総額69億円の新年度予算を可決

第1回定例会は3月10日から開会され、令和2年度当初予算をはじめ、条例の一部改正、令和元年度補正予算など、町長から提案された24議案をいずれも原案どおり可決し、12日に一般質問等を行って閉会しました。

令和2年度一般会計予算は51億3000万円で、対前年度比17.4パーセントの増、特別会計を合わせた7会計総額では、69億2270万円で、対前年度比14.7パーセントの増となっています。

歳入では、町税は個人町民税で農業所得の伸びにより、増額と見込む一方、固定資産税で事業系償却資産を減少と推計したことから前年対比横ばいの4億9693万円の計上となりました。普通交付税は前年対比9909万円増の20億1116万円、臨時財政対策債は前年度実績額から8000万円を見込んでいます。また、繰入金は、豊頃中学校等改築設計業務のための財源として教育振興基金から8900万円を繰り入れるとともに、財源不足に充てるため、財政調整基金から2億5000万円の繰り入れを計上しています。歳出の主な事業は次ページに掲載しています。

令和2年度各会計当初予算

(単位：万円)

会計名	2年度	元年度	比較	伸び率	
一般会計	51億3000	43億6800	7億6200	17.4%	
特別会計	国民健康保険特別会計	5億9400	5億7240	2160	3.8%
	介護保険特別会計	3億7665	3億7615	50	0.1%
	後期高齢者医療特別会計	6409	6116	293	4.8%
	医療施設特別会計	1億0575	1億1943	▲1368	▲11.5%
	簡易水道特別会計	3億1989	3億0112	1877	6.2%
	公共下水道特別会計	3億3232	2億3466	9766	41.6%
	小計	17億9270	16億6492	1億2778	7.7%
合計	69億2270	60億3292	8億8978	14.7%	



当初予算の

主なもの

農林水産業の振興

鳥獣被害防止対策事業
補助 240万円
鳥獣侵入防止電気柵を整備する農業者への補助

緊急漁場保全活動支援
事業補助 200万円
ヒトデ駆除事業への補助

社会基盤の整備

町道の整備・橋りょう
補修 3億8379万円
幌岡第3幹線、統内16線、北栄17連絡線の整備、橋の補修

公営住宅の整備
4080万円
高齢者住宅の建築1棟2戸

防災行政無線デジタル化
整備工事 2億5350万円
防災行政無線のデジタル化と個別受信機の更新など

茂岩簡易水道基幹的施設
改良事業 1億0625万円
水道施設の電気計装更新および配水管の敷設替

下水道施設更新事業
1億3200万円
茂岩下水浄化センターの電気設備更新工事（公共下水道特別会計）

福祉の充実

次世代育成支援金支給
事業 1870万円
出産祝金や子どもを育てる保護者への支援金を支給

福祉タクシー乗車券交付
事業 531万円
高齢者世帯にタクシー乗車券を交付。

とよこ荘大規模改修事
業補助 2億5915万円
特別養護老人ホームの施設改修への補助

乳幼児等医療費助成事業
840万円
本町独自に高校生までの医療費を無料化

商工業・観光の振興

冬期観光施設新築工事
3900万円
ジュエリーアイヌ観光振興として休憩所・トイレを建設

教育の振興

豊頃中学校改築等工事
設計委託 9735万円
豊頃中学校の移転工事に伴う基本、実施設計の委託業務

記念事業の開催

開町140周年記念事業
648万円
北海道日本ハムファイターズ応援大使招へい事業、タイムカプセル開封など

※表示の金額は、1万円未満を四捨五入しています。

広報とよこ 議会だより

▽当初予算の主なもの 役場だより



令和元年度 補正 予算

会計名	補正額	総額
一般会計(第7号)	▲5084万円	47億4540万円
一般会計(第8号)	900万円	47億5440万円
国民健康保険特別会計(第1号)	▲1392万円	5億5848万円
介護保険特別会計(第3号)	▲203万円	3億8186万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	▲18万円	6098万円
医療施設特別会計(第2号)	▲2180万円	9793万円
簡易水道特別会計(第3号)	▲1838万円	2億9103万円
公共下水道特別会計(第3号)	▲2963万円	2億1069万円

補正予算の主なもの

◆ふるさと応援寄付金
事業 683万円

ふるさと納税による寄付者への返
礼費用を寄付金額の増加により追加
補正

◆道営農地整備事業
(繰越明許費) 5290万円

北海道が進める農地の区画整理・
暗渠排水等の整備に対する負担金

このほか、予算額の精査による
減額

※繰越明許費とは、歳出予算の経
費のうち、年度内にその支出が終
わらない見込みのあるものについ
て、予算の定めるところにより、
翌年度に繰り越して使用できる経
費のこと。

【条例改正等】

▼豊頃町課設置条例の一部改正
行政サービスの向上を図るため、

防災に関する業務を住民課から総
務課に、契約に関する業務を総務

課から住民課に移管する改正。

▼豊頃町外通勤者助成金交付条例
の一部改正

令和3年3月31日までであった
条例の失効期限を廃止し、交付対
象者の年齢上限を「40歳未満」か
ら「60歳未満」にする改正。

▼豊頃町放課後児童健全育成事業
の設備及び運営に関する基準を定
める条例の一部改正

厚生労働省令の施行に伴い、放
課後児童支援員の資格要件に、関
係法令に定める要件を加える改
正。

▼地方公務員法及び地方自治法の
一部を改正する法律の施行に伴う
関係条例の整備に関する条例の制
定

法律の施行に伴い、「豊頃町職
員の分限についての手続及び効果
に関する条例」、「豊頃町家庭的保
育事業等の設備及び運営に関する
基準を定める条例」など14の条例
中、関係条文の改正。

【人事案件】

▼豊頃町教育委員会委員の任命
令和2年3月31日に任期満了を

迎える鈴木千賀子氏(茂岩末広町)
を再任したいとの提案があり、こ
れに同意しました。

なお、任期は令和6年3月31日
までの4年間です。

▼豊頃町固定資産評価審査委員会
委員の選任

令和2年4月21日に任期満了を
迎える中村哲蔵氏(天津寿町)を
再任したいとの提案があり、これ
に同意しました。

なお、任期は令和5年4月21日
までの3年間です。

主な審議内容

令和元年度補正予算

○**穴谷議員** 臨時福祉プレミアム
付商品券事業の減額理由は、

○**A** 国のプレミアム事業で、実
際3割弱の利用ということ
で減額となった。

○**小笠原議員** 地域おこし協力
隊報酬の減額理由と、今後の隊員
募集活動についての考えは、

○**A** 令和元年度において地域
おこし協力隊員を募集した
が、応募がない状況。新年度にお
いても継続して募集を行う。



Q 石田議員 豊頃医院の診療報酬収入が減額だが、現在の豊頃医院の運営状況は。

A 患者の数が減っている。町外の医療機関への患者流出をおさえるための支援をする。

令和2年度当初予算

Q 穴崎議員 自動車税環境性能割交付金の予算措置についての根拠はどのような理由か。

A 自動車取得税が環境性能割交付金に変わったもので、消費税増税などで自動車の購入が落ち込むことが予想されるため。



Q 小笠原議員 行政区長報酬について増額の理由は。

A 令和2年度単価を見直すことで増額となったため。

Q 穴崎議員 十勝地域と東京たいてい・すみだ連携交流事業について事業の趣旨は。

A 関係人口の拡大を図ることを目的とし、地方創生推進交付金を活用し、十勝地域と台東区、

墨田区双方の持つ食、自然、文化などを磨き上げ、体験を通じた交流を通じ、企業間あるいは住民間の多様なつながりの構築を図る。令和2年度から6年度までの5年間、十勝18町村と台東区、墨田区が連携して事業を実施し、本町の物産、交流などの事業を進める。

Q 小笠原議員 北海道日本ハムファイターズ応援大使招へい事業補助金の内容は。

A 事業等の展開は豊頃町北海道日本ハムファイターズ後援会と行うため、委託する部分の補助を見込んでいるため。



役場1階玄関に設置された特設ブース

Q 石田議員 個人番号カード関連事務委任交付金について、今までの交付状況は。

A 例年は1年間で25件程度のところ、国の普及活動によって令和元年度は2月末までで51件交付している。

Q 穴崎議員 保育士資格者の確保についての考えは。

A 給与の改善を図るため4月から段階的に正職員化を検討する。

Q 小笠原議員 気象観測施設管理費の増額理由は。

A 機器の保守点検やデータ解析を委託しているが、気象装置等の経年劣化で、営農管理に影響が生じたため、装置の更新を行う。

Q 石田議員 豊頃愛生協会運営補助金について、事業者から経営改善計画は示されているのか。

A 今後は経営内容について担当課でも把握、確認しつつ支援する。

Q 穴崎議員 とよころ荘大規模改修工事について、どの程度の設備を完備するのか、今後の取り組みとしていつ頃着手するのか。

A 現施設は、窮屈で入居者の移動も苦労することから、廊下の幅を広げ、集まりやすい場所

を作り、入居者が安心して移動できるよう改修する。令和2年6月1日着工し、令和3年2月28日竣工予定。



大規模改修工事が行われるとよころ荘

Q 石田議員 豊頃コミュニティセンターのエアコン設置場所は。

A 大ホールに設置を考えている。

Q 石田議員 豊頃農作業管理休養施設のトイレ改修工事の改修内容と他の地域からの要望への対応は。

A 豊頃農作業管理休養施設へのトイレ改修は、簡易水栓を考えている。ほかの地区で同様の要望が出た場合、利用頻度等を考慮しながら、地区の方と協議する。



前回のサマーランド市
中学生派遣交流事業

Q 石岡議員 教育研究所費における印刷費の増額理由は。

A 学習指導要領が改正され、新しい教科書による授業が令和2年度から小学校で、令和3年度から中学校で実施される。それに伴い、教科書副読本を小学生3、4年生用に製作するため。

Q 岩波議員 サマーランド中学生派遣交流事業補助金の内容は。

A 旅費については、引率2名分を計上し、負担金補助および交付金については、中学生の旅費相当額を補助する。定員は10名を予定し、派遣に係る自己負担は7万円を限度額とする。

Q 穴崎議員 学校建設費の基本設計、実施設計および支援業務の説明を。

A 基本設計および実施設計は北海道または国土交通省が示す歩掛を根拠とした。基本設計と実施設計は同一業者。支援業務は北海道の品確法に基づくコンサルタントに依頼するもので、公共の施設として対応できるものを建築するための工事、設計の支援業務を依頼するもの。

Q 小笠原議員 町民芸術鑑賞会の役務費の増額理由は。

A 町民芸術鑑賞会について、は開町140周年ということもあり、集客が見込める著名人を招へい予定。はるにれ寄席やトーク公演を計画している。

Q 穴谷議員 茂岩高台線ロードヒーティング改修工事について、どのような不具合が生じたか。また、町内の同時期に施工したロードヒーティングは問題ないのか。

A ところどころ断線が発生した。令和元年度の夏に調査し、補修を行ったが全面的にやり直したほうが良いと判断した。町内の同時期に施工したものは、同様に不具合が生じた部分があった

が、補修等に対応できた。

Q 小笠原議員 町営リンク造成管理委託について、今後も造成委員会でのリンク造成が可能なのか。

A リンク造成委員会のメンバーは少人数で、担い手の確保が難しい状況のため、今後業務委託の必要性など、引き続き検討する。



第45回町民スケート大会

Q 穴崎議員 電気料について電気料の自由化に伴い、調査や検討を行っているか。

A 本町は北海道電力株式会社との契約によって電気供給を受けている。民間の導入についてもリスクを分析し、経費を抑えられる形で検討を進めたい。

Q 石岡議員 豊頃医院の診療報酬収入について令和2年度も減額となっている。町民の健康、安全のためにも地域に根差した地域医療を目指し、住民の声や医療保険関係者と連携を図り、運営を行うことが重要ではないか。

A 町民の健康、安全が第一であり、町民が安心して受診ができるよう、医療保健関係者と協議を進める。

Q 小笠原議員 水道施設改修工事および水道施設更新工事の内訳は。

A 水道施設改修工事は十弗ポンプ場フエンス設置、二宮浄水場電柱立替を考慮しており、長節浄水場次亜塩素調剤更新と本管敷設工事を含む。また、水道施設更新工事については、大川ポンプ場および湧洞配水池の電気計装更新と長節地区配水管敷設を予定している。



広報とよこる

議会だより

令和2年度当初予算

役場だより



一般質問

一般質問は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議時間短縮のため、議場で行わず、書面による答弁としました。



石田 貢 議員

第4次まちづくり総合計画の評価と第5次の策定状況は

Q これまでの進捗状況を踏まえ、まちづくりをどう評価しているか。

A 宮口町長

住民と行政が「共に支えあい、人と自然にやさしい、活力あるまちづくり」を基本姿勢として取り組んだ。令和元年10月に実施した、町民アンケート調査の中で、「豊頃町

に愛着を感じている」と回答した方が75%、「これからも豊頃町に住み続けたい」と回答した方が70%となっており、このことが、これまでの10年間の取組の評価である。

Q 第5次豊頃町まちづくり総合計画の策定にあたりどのようなまちづくりを描いているか。

A 宮口町長

第3次および第4次豊頃町まちづくり総合計画で定めた「やさしさ」と躍動のふれ愛タウンとよこを踏襲する。運用の基本的な考え方は、国内外を取り巻く社会経済情勢の変化が早い時代であり、不確実な未来に対応できるように、市政の方向性を共有しつつ、戦略的で機動的に見直しながら運用できる計画とする。

産業活性化施設(旧スーパーアグリ店舗)の再開は

Q 本施設の再開目的の進捗状況は。

A 宮口町長

令和元年9月に出店について申入れのあった法人と基本協議を重ね、令和2年2月に出店に関して同社から基本提案があった。今後は店舗内に関する計画を策定し、賃料など具体的な数字を挙

げたうえで協議を継続する。労働力確保が最大の課題となるため、町としても積極的に協力していきたい。



大崎 英樹 議員

令和2年度予算案関連施策は

Q 地域商社ココロコに係る関連予算が計上されているが、地域商社の現状と今後の方向性は。

A 宮口町長

地域における構造的な問題解決のため、平成30年3月に設立した「地域商社ココロコ」は、令和2年度は町からの運営支援補助金、推進プロジェクト補助金、まちなか活性化拠点施設管理委託料を財源とし、互産互生事業を基軸に法人の定款に定める事業を展開する予定。令和元年度からは農山漁村振興交付金を受け、地域産品のブランドディング等を検討する「6次化プロジェクト」やモニターツアーを実施しつつその可能性について検討する「ツ

リズムプロジェクト」を行い、町内産品の新たなパッケージ作成や地元の食材を用いた料理レシピ本作成を行うなど、積極的に町を発信しており、令和2年度においても同事業を継続する。今後は公共関連組織・団体の事務受託業務を行うなど、独自運営が可能となるような事務・事業を進めつつ、町内各産業団体や企業、個人からの相談にも対応する。



ココロコテラス

Q 開町140周年記念事業の基本的な考え方は

A 宮口町長

平成27年に挙行した町制50周年記念式典から、期間を経ていないことから、記念式典の開催は予定していない。町功労者表彰式の特別表彰と、110周年記念事業として役場庁舎前庭に埋設したタイムカプセルの開封を行う。予算化した主な内容は、町民芸術鑑賞会、



北海道日本ハムファイターズ応援大使等招致事業、プレミアム付き特別商品券発行事業などである。また、各団体が実施する事業に対し、記念品の配布等を検討する。

Q 特別養護老人ホームとよころ荘大規模改修事業補助金が計上されているが、町が策定した豊頃町福祉ゾーン整備構想との整合性は。

A 宮口町長

「福祉ゾーン構想」は茂岩栄町を5つのブロックで構成するもので、「はるにれsokoro」を中心としたエリアを「高齢者福祉施設ブロック」とし、「特別養護老人ホームとよころ荘」を隣接して建設する計画。しかし、施設を運営する豊頃愛生協会は、町のハザードマップにより水害の危険性があること、施設の移転に多大な経費を要することなどから、現施設を改修して運営したいと考えている。また、災害などにより二次避難が必要となった場合、福祉避難所として被災者を受け入れることが可能なため、財政、防災の両面で現在地での施設改修がより良いものと判断する。

Q 旧スーパーアグリ店舗の利活

用について、当初予算に改修費等が計上されていないがその理由および今後の方向性は。

A 宮口町長

当初予算編成後において出店を計画される法人から基本提案があったことに加え、店舗内において町が必要とする機能等について庁舎内での協議が整っていない。

今後早急に店舗施設および付帯機能の規模・内容について、打合せを行い、出店の意向があった法人との協議を進め、町議会へ補正予算の提案、新店舗に関する説明をする。

行政職員の育児休業取得等は



岩井 明議員

Q 本町における行政職員の育児休業取得率と今後の取組等は。

A 宮口町長

本町では「豊頃町特定事業主行動計画」を策定しているところであり、育児休業の取得率について、女性は100%、男性は10%を目標数値に掲げてい

る。計画期間中の対象者はいなかったが、過去の経過はすべての女性職員が取得している。男性の対象者はいたが、取得には至らなかった。計画期間が今年度末までとなっていることから、新たな計画について職員衛生委員会が策定作業を進めている。新計画の中で数値目標やそれを達成するための取組などを改めて検討し、男性職員が育児に参加しやすい環境づくりに努める。

町内建設業者の育成と災害対応について



杉野 好行議員

Q インフラへの投資的経費は維持補修が主なものとなっているが、今後の維持計画と年度ごとの予算の見通しは。

A 宮口町長

本町の建設事業は社会資本整備事業などの補助事業が主である。建設事業は、豊頃町まちづくり総合計画に基づき実施しており、維持補修業務については道路・河川・明渠などの

損傷の程度に応じ適宜予算化し、補修対応している。

Q 近年の維持補修だけで業者の経営維持は可能なのか、町内業者の縮小が進むと災害が発生した場合の緊急対応が困難となることが予想される。適切な業者育成の予算措置等は。

A 宮口町長

維持補修業務は、施設の管理には欠かせない重要な業務で、町道・農道・林道・河川・明渠など各施設の長寿命化を図るために実施するものである。社会資本整備事業などを活用し、今後も必要に応じて予算の確保に努める。災害時の緊急対応には町内業者の協力が欠かせないものと認識しており、町と豊頃町建設業協会の間で、災害対策に関する協定を締結していることから、育成については、関係団体と連携して進める。

◎ 会議の詳細は会議録で ◎

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議事事務局へお問い合わせください。また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222
FAX 015-574-3955
(議会事務局直通)

総務文教常任委員会レポート

総務文教常任委員会（小笠原茂人委員長）は、10月29日から2月20日まで、「豊頃町立豊頃中学校改築等」について、中学校改築等に関する計画の概要、説明会の実施状況、基本設計業務の契約等を調査しました。

1 調査の経過と結果

(1) 「豊頃町立豊頃中学校改築等に関する計画」の概要

①計画の位置付け

教育委員会は、平成27年から本町学校教育の環境について調査研究を開始し、検討を進めてきた。平成30年9月に豊頃町立学校校舎建築検討委員会から町長および教育委員会に提出された「豊頃町立学校校舎等の建築のあり方について」の報告書をもとに本計画を策定している。

②本町学校の特色ある教育活動

本町では「報徳のおしえ」を基盤に学習機会の設定や、小・中



教育委員会から計画に関する説明を聴取

校相互の連携教育を展開し、子どもたちの生きる力の醸成や健全育成の推進を図る特色ある教育活動を進めてきた。

③今後の学校施設等のあり方

豊頃中学校建築にあたり、国の学校施設環境改善交付金事業の採択が可能と判断されること、現下の文部科学省の学校教育における方向性、連携教育などを総合的に検討し、小・中一貫教育を効果的・効率的に実施できる学校施設整備および周辺環境整備等について次のとおり内容を確認した。

▼豊頃中学校は、小学校に併設する形で移転改築する。

▼併設した豊頃中学校の運用開始は、令和5年4月を目指す。

▼移転改築後は、社会体育施設を集約した運動公園ゾーンに位置付けるなど、今後協議検討する。

▼将来的な保育所のあり方や教員住宅の移転を検討する。

(2)計画の関係団体への説明およびパブリックコメントの実施

令和元年9月から町内小・中学校教職員、各学校保護者、町内保育保護者などに本計画の説明を



改築を予定されている豊頃中学校

行った。また、令和元年11月1日から同年12月31日までの期間、える夢館および大津支所においてパブリックコメントを実施し、121件の意見が出された。

(3)豊頃中学校改築等工事基本設計業務の契約について

豊頃中学校改築等基本設計業務の契約にあたり、設計業務受託を希望する設計者を公募し、業務の施工に必要な、豊かな感性と高技術力、豊富な経験を有する優れた設計者を選定するために『公募型プロポーザル方式』を活用した。本町の教育環境の将来を見据え、地域の特性や自然環境の調和など

を考慮し、特定者を選定。令和2年2月12日に契約を締結した。契約期間は同年7月22日までとし、契約金額は2200万円である。

2 まとめ

本調査では、「豊頃町立豊頃中学校改築等に関する計画」の概要、同計画に関する説明会およびパブリックコメントの実施状況ならびに豊頃中学校改築等工事基本設計業務の契約の概要等について、説明聴取を実施した。教育委員会は関係団体への説明およびパブリックコメントにより住民からの意見を広く聴取するよう努めた。今後、理解を広げるためにも、より積極的な情報公開・意見徴収が必要と考える。基本設計の素案づくりの過程で、これまで出された意見のすり合わせや、「報徳のおしえ」を目で見えてわかる形で特色ある学校づくりに生かすためにも十分な検討が必要ではないか。子どもたちの教育環境の充実と町民に愛される学校となるよう、住民と一体となって改築事業を進めるべき。運動公園ゾーン、文教ゾーンの検討においては、公共施設の移転が議題となることから住民との対話を重視すべきなどの意見が出された。

※要約掲載

産業厚生常任
委員会レポート

産業厚生常任委員会（坂口尚示委員長）は、2月6日、「保育所運営の状況」について、町内各保育所の運営状況と施設管理状況を調査しました。

1 調査の経過と結果

(1) 各保育所の状況（2月1日現在）

① 茂岩保育所

昭和49年4月に認可され、同年5月事業開始。施設は平成19年10月から旧茂岩小学校を改築したこどもプラザとよころの1階部分を使用している。入所児童数は59人で年齢別内訳は、0歳児4人、1歳児4人、2歳児10人、3歳児17人、4歳児11人、5歳児13人である。

保育士は配置基準の7人に対し12人（うち3人は代替保育士9人の中から調整）が勤務している。保育内容は、5項目の保育目標を掲げており、目標達成に向けて、



こどもプラザとよころで
保育所の運営状況を調査

指導計画等の作成、保育士の打ち合わせ会議の開催、各種研修会の実施・参加などを行っている。保育時間は、通常保育は平日が午前8時30分から午後4時30分まで、土曜日は午前8時30分から午前12時まで、日曜日、祝日、年末年始は休所。保護者の希望により、早朝保育を午前7時30分から、残児保育を午後6時までで行っている。国の幼児教育・保育の無償化制度により、3歳以上児と3歳未満児のうち住民税非課税世帯、第3子の一部、第3子以降が無料。

② 大津保育所

昭和53年2月に認可され、同年4月事業開始。平成22年にはへき地保育所に変更している。施設は平成26年4月に大津地域コミュニティセンター横に建設された。入所児童数は11人で、1歳児1人、2歳児2人、3歳児3人、4歳児1人、5歳児4人である。保育士は配置基準の2人勤務しており、保育内容は茂岩保育所と同様。保育時間も通常保育は同様。保護者の希望により、早朝保育を午前8時から、



大津保育所を視察

残児保育を午後5時までで行っている。保育料は月額5千円であるが、3歳以上児と3歳未満児のうち住民税非課税世帯が無料。

(2) 保育施設管理の状況

① こどもプラザとよころ

保育施設を核とし、子育て支援センター、こどもばの教室および学童保育所を併設した複合児童福祉施設で、昭和57年に完成した旧茂岩小学校閉校後、平成19年に改築、外構工事等の整備をしている。建築後37年が経過し、最近の主な改修は、平成20年度に遊戯室・廊下の床改修、駐車場の舗装、平成21年度に体育館屋根外壁塗装、平成22年度に親子交流室改修、平成26

年度に屋根の改修を実施している。

② 大津保育所

大津保育所は平成26年に現在地において新築している。建築後5年が経過し、完成後に大きな改修は行っていない。

(3) 今後の課題

安定した保育所運営ができるよう保育士等の人材の確保、保育士業務見直しの検討や、サービス・運営形態として、土曜日の一日保育、休日保育、病児保育の実施、認定こども園への移行や民営化の検討など、施設管理では長寿命化計画の策定、遊具の整備計画の策定が検討されている。

2 まとめ

各保育所では、国の定める保育所保育指針を遵守しながら、地域住民とつながりを持って様々な行事を実施するなど入所児童を保育しており、今後さらなる保育の質の向上に期待したい。施設管理では保育環境の充実に向けて、老朽化した遊具等の整備が必要であることが分かった。保育体制は保育士有資格者を中心とする保育人材の確保が深刻な問題となるため、より積極的な募集活動をすべきではないか、保育士の業務改善、待遇改善が必要ではないかなどの意見が出された。

※要約掲載

広報とよころ

議会だより

▽産業厚生常任委員会レポート

役場だより



町議会の新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

豊頃町議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、3月5日開催の議会運営委員会において協議し、次の点に取り組みました。

- ① 議場内は、濃厚接触が起こりやすい閉鎖空間と考えられ、長時間にわたる会議開催は感染拡大防止の観点から好ましくないことから、効率的な会議運営に努める。
- ② 一般質問は、書面にて
- ③ 定例会中は、議会議席者、傍聴者はマスク着用とする。また、庁舎4階にアルコール消毒液を設置し手を消毒する。
- ④ 議員から新型コロナウイルス対策に関する町への質問等は、議会事務局を通じて新型コロナウイルス感染対策本部へ伝達する。



マスク着用の上で審議を進める議場内の様子

決議

▷アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現し民族共生の未来を切り開く決議

総務文教常任委員会にて審議した決議案が、常任委員会委員長である小笠原茂人議員から提案説明され、原案のとおり可決されました。



提案説明する小笠原茂人議員

相馬市議会行政視察

2月13日、本町の姉妹都市である福島県相馬市議会会派「新政会」（立谷耕一会長）が行政視察のため来町しました。

会派所属の議員5名と菊地清次議長が来町し、「切れ目のない子育て支援について」をテーマに、本町の子育て支援事業の概要や成果などを本町職員から説明を受けた後、意見交換を行いました。

行政視察後は、相馬市ゆかりの報徳二宮神社を参拝、昼食をとりながら懇談し、姉妹都市の交流を深めました。



相馬市議会新政会行政視察一行

議会日誌

- 〔2月〕
 - 6日 議員全員協議会
 - 相馬市議会行政視察来町
 - 13日 総務文教常任委員会
 - 20日 十勝町村議会議長会定例会
 - 21日 〃帯広市
 - 26日 議員全員協議会
 - 28日 十勝圏複合事務組合等議定会
 - 〃帯広市
- 〔3月〕
 - 5日 議会運営委員会
 - 10日 第1回定例会（1日目）
 - 〃（補正予算、その他）
 - 12日 議員全員協議会
 - 総務文教常任委員会
 - 産業厚生常任委員会
 - 第1回定例会（2日目）
 - 〃（令和2年度当初予算、一般質問、その他）
 - 7日 議会広報特別委員会
 - 15日 議会広報特別委員会
 - 21日 十勝町村議会議長会定例会
 - 〃十勝圏活性化推進期成会委員
 - 〃帯広市
- ◎今後の予定
 - 〔5月〕
 - 12日 第2回臨時会
 - 29日 十勝圏活性化推進期成会農林水産経済委員会
 - 〃帯広市
 - 〔6月〕
 - 8日 議会運営委員会
 - 第2回定例会（1日目）
 - 〃（補正予算、その他）
 - 11日 北海道町村議会議長会定期総会
 - 16日 〃札幌市
 - 23日 第2回定例会（2日目）
 - 〃（一般質問ほか）

※日程は変更する場合があります。